



# 2023年3月期第2四半期決算説明資料

〈補足説明資料〉

東京地下鉄株式会社

2022年11月10日

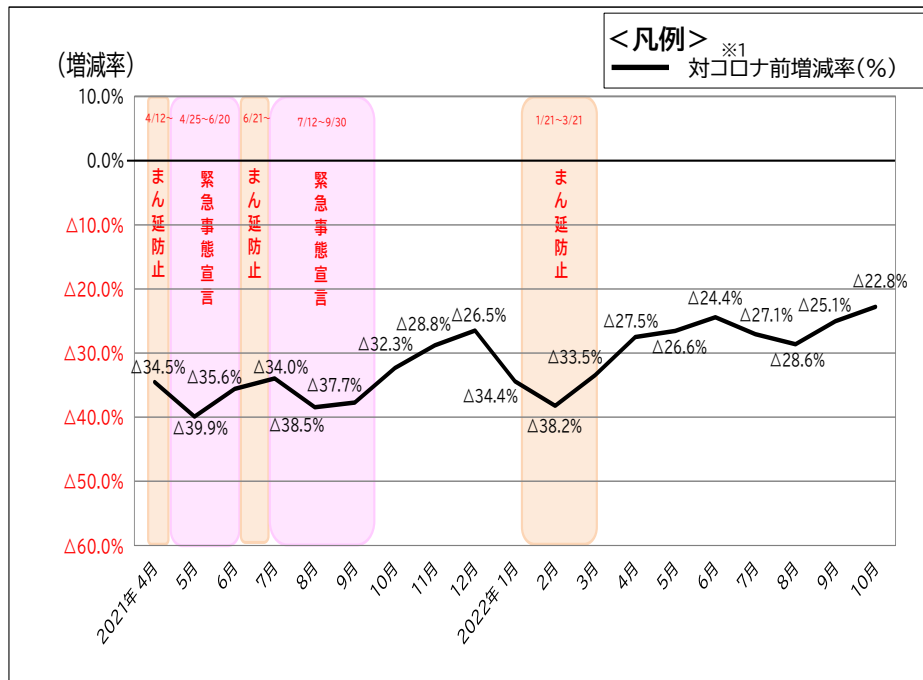
# 運輸収入トピックス①

定期・定期外合計(平日)及び定期(平日)のご利用において、  
新型コロナウイルス感染症による影響からの回復が見られました。

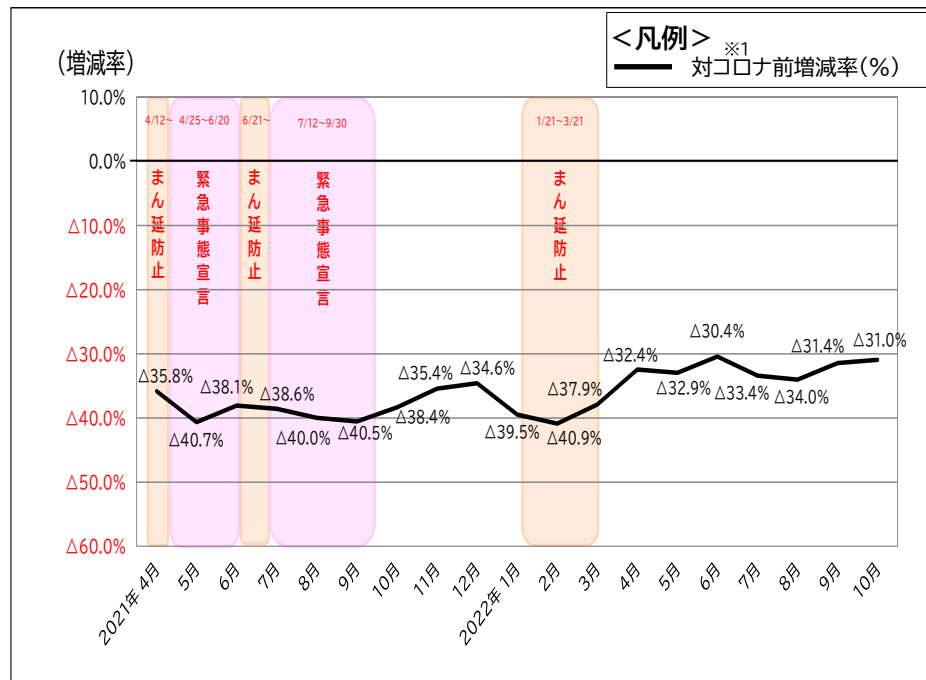
## 全線における自動改札機データ(定期・定期外合計及び定期 月別)

- 自動改札機における全駅の平日の定期・定期外合計出場枚数及び定期出場枚数は、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、減少幅が縮小に転じ、回復が見られました。その後7月から8月にかけて、感染者数の増加に伴い、一時的に減少幅が拡大したものの、9月以降もその回復傾向は続き、特に定期・定期外合計出場枚数では、10月に、2020年度以降、最も減少幅が小さくなっております。

平日(定期・定期外合計) 出場



平日(定期) 出場



※1 コロナ前:2019年4月~2020年1月、2019年2月~3月(2020年2月~3月はコロナの影響を受けているため比較対象を2019年2月~3月としております)

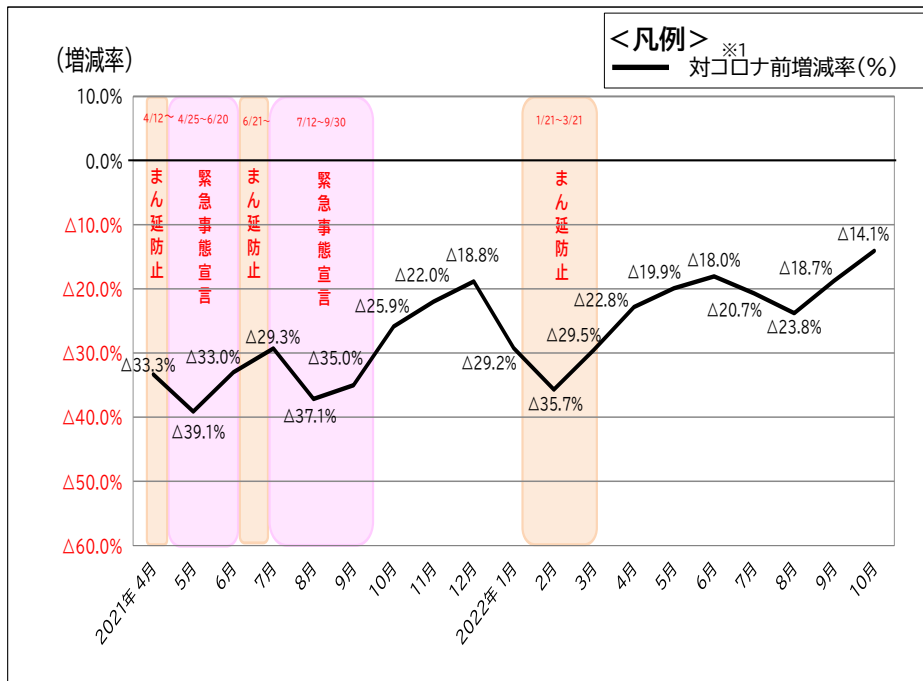
# 運輸収入トピックス②

定期外(平日及び土休日)のご利用において、  
新型コロナウイルス感染症による影響からの回復が見られました。

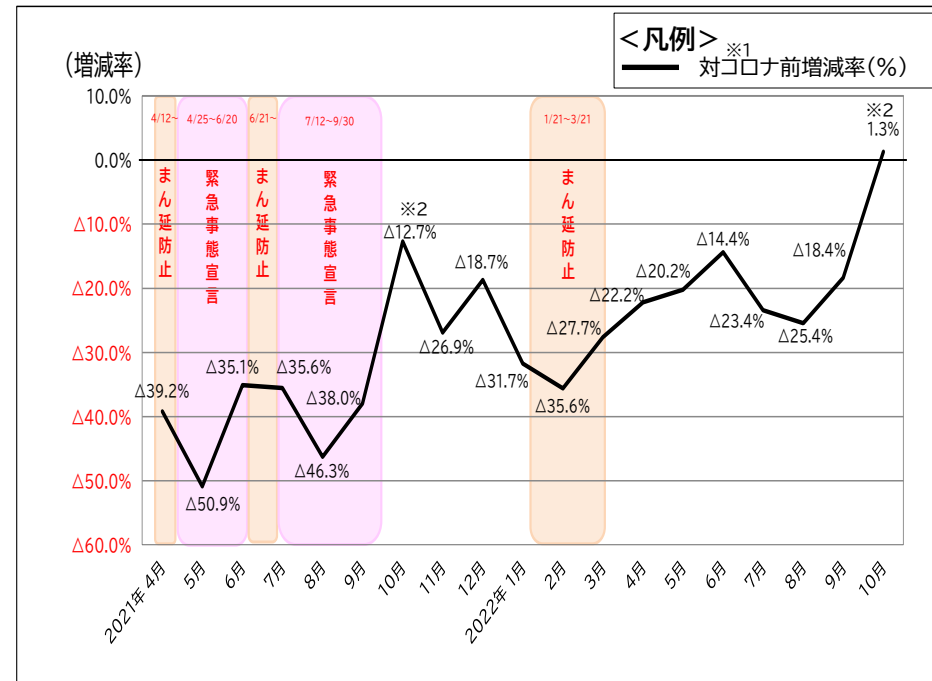
## 全線における自動改札機データ(定期外 月別)

- 平日の定期外出場枚数及び土休日の定期外出場枚数は、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、減少幅が縮小に転じ、回復が見られました。その後7月から8月にかけて、感染者数の増加に伴い、一時的に減少幅が拡大したものの、9月以降もその回復傾向は続き、10月に、2020年度以降、最も減少幅が小さくなっております。

平日(定期外) 出場



土休日(定期外) 出場



※1 コロナ前:2019年4月~2020年1月、2019年2月~3月(2020年2月~3月はコロナの影響を受けているため比較対象を2019年2月~3月としております)

※2 2019年10月12日(土)、13日(日) 台風19号による連休の影響を含む。(2021年10月、2022年10月 約11ポイント減少幅圧縮)

# コスト構造改革の取組み

安全の確保を前提に、お客様への影響に配慮しながら、仕様や時期等を見直し、さらなる経費の削減に努めました。

## 規模の見直し

- 軌道モーターカーの保有台数見直しに伴う保守点検費用の削減
- 駅・建物定期検査における検査範囲の見直し

## スペックの見直し

- 内照式サイン看板の点検内容の見直し
- 軌道清掃方法の見直し

## 周期の見直し

- 駅務機器の点検周期見直し
- トンネル内照明のランプ交換周期の見直し
- 車両電気品更新周期の見直し

## 廃止・集約

- 券売機の機能と重複している運賃表の見直し

## 将来の要員不足への対応

- 有楽町線 小竹向原駅～新木場駅間でワンマン運転の実施(2022年8月6日(土)から開始)  
※ATO(自動運転 GoA2 当社では現在、南北線、丸ノ内線、有楽町線、副都心線、千代田線の一部で導入済)

### 安全・安心への取組み



全区間

最前部乗務員室の運転士が電車の運転、ドアの開閉およびお客様のご案内をいたします。



全駅

ホームと線路の間を仕切り、電車のドアと連動して開閉するホームドアを設置しています。



一部の駅

乗り降りの際、電車とホームの間が広く開いている箇所に、ホームドアと連動して稼働するステップを設置しています。



駅間では自動運転を行っており、車内非常通報は運転士、さらには総合指令所に対応いたします。



電気料金の増加が懸念される中で、安全の確保を前提に、お客様への影響に配慮しながら、仕様や時期等を見直しを行いました。

引き続き業務のスリム化など抜本的なコスト構造改革による削減に努めます。